

富山県立石動高等学校 シラバス

科目名	日本史A	単位数	2	学科	商	学年	3
使用教科書	「高等学校 改訂版 日本史A」(第一学習社)	副教材等	「最新日本史図表」(第一学習社) 「日本史Aノート」(第一学習社)				
科目の内容と到達目標	我が国の近現代の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付け、現代の諸課題に着目して考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。						
学 習 計 画 等							
学期	月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い ・ 目 標			備考(学習活動の特記事項・副教材使用等)	
1	4	第1部 私たちの時代と歴史 近代学習のはじめに ～日本のあゆみをふりかえろう～	<第1部> ・近代の学習に入る前に、原始から近世までを総復習する。 <第2部 第1節> ・江戸時代の日本の対外関係について理解する。・近世後半の産業、教育や学問・思想などの発展について理解し、さらに、これらが近代文化の基盤となったことを理解する。・江戸時代後期の幕藩体制の動揺と諸藩の改革について理解する。 <第2節> ・開国に至る経緯と、幕府の対応について理解する。・開国以後の情勢について、幕府が崩壊した一連の流れを理解する。・幕末から明治初期の使節・留学生の派遣、外国人の招聘により欧米文化が導入されたことを理解する。 <第3節> ・明治政府の初期の諸政策によって、近代日本の基礎が形成されたことを理解する。・明治政府の中央集権化・藩閥専制の傾向に対し、自由民権運動がおこり、国民の政治的関心が高揚し憲法制定・国会開設に至る、一連の動きを理解する。・初期の外交政策は、欧米に対しては不平等条約の改正、一方、アジア諸国に対しては強硬な態度で臨んだことを理解する。・この時期に、日本の領土が国際的に確定したことも理解する。			「最新日本史図表」(第一学習社) 「日本史Aノート」(第一学習社)	
	5	第2部 第1章 近代国家の形成と国際関係の推移 第1節 近代への胎動 〔中間考査〕					
	6	第2節 明治維新 〔期末考査〕					
	7	第3節 近代国家の確立					
2	9	第4節 国際関係の推移と近代産業の発展 〔中間考査〕	<第4節> ・明治前半では、条約改正が最大の外交課題であり、この克服においては、国際情勢と国内情勢が密接に関係し、進められたことを理解する。・日清・日露戦争の経緯と結果、また、この戦争を経て、アジアに対して日本が勢力の拡張をおこなったことを理解する。・日清・日露戦争期において、政党政治が展開したことを理解する。また、日露戦争後の国民の負担や、政府による精神的な引き締めについて理解する。・日清・日露戦争の過程で、日本に産業革命がおこり、資本主義が確立したことを理解する。・資本主義の発展によって産業構造が変化し、これにともない、都市における貧民問題や労働問題など、さまざまな社会問題が発生したことを理解する。・教育の普及、また、国民統制において、教育政策や国家主義的思想がはたした役割について理解する。・明治の学問と芸術の成果について理解する。その背景として、お雇い外国人や留学生の存在についても理解する。 <第2章 第1節> ・第一次護憲運動・第二次護憲運動をはじめとする民衆運動の盛り上がり、大正期における政党政治の展開について理解する。・第一次世界大戦に日本が参戦した意図、日本の外交方針の推移について理解する。・第一次世界大戦後、国際的に民族運動が高まったことについて理解する。・第一次世界大戦が日本に与えた経済的な影響について理解する。・大正期にさまざまな社会運動が活発になったこと、女性解放運動もすすんだことを理解する。・大正デモクラシーの風潮のなか、あらたな学問・芸術が生まれたこと、都市の発展などを背景に大衆文化が誕生したことを理解する。 <第2節> ・国内的な第一次世界大戦以後の慢性的な不況と、国際的な世界恐慌による資本主義諸国の経済危機について把握し、日本および各国が、このような状況をどのように克服していったのかを理解する。・軍部の台頭の過程と、これにともなう政治的な状況の変化について理解する。・中国・アメリカを中心とした国際関係の変化にも着目しながら、太平洋戦争に至る過程を理解する。・太平洋戦争に至る過程のなかで、国民生活はどのように変化したのかを理解する。・日本がアジア諸国に対して与えた影響について理解する。			「最新日本史図表」(第一学習社) 「日本史Aノート」(第一学習社)	
	10	第2章 両大戦をめぐる国際情勢 第1節 第一次世界大戦と日本 〔期末考査〕					
	11	第2節 第二次世界大戦と日本					
	12						
3	1	第3章 現代の日本と世界 第1節 日本の再出発 第2節 独立後の政治と経済の発展	<第3章 第1節> ・第二次世界大戦後の連合国による対日占領政策、民主化の諸改革の内容について理解する。・日本国憲法について、その制定までの過程や内容の特徴を理解する。・戦後の深刻な国民生活の実態について理解する。・敗戦後の国民生活について、食料不足などの危機的状況にあったことを理解する。一方で、アメリカ文化をはじめとするあらたな文化的動向についても理解する。・日本の経済復興の過程を理解する。・国際的な冷戦のはじまりと、日本に対する占領政策の転換からサンフランシスコ平和条約の締結に至る経緯と背景について、理解する。 <第2節> ・主権回復後の日本の国内的な政治の推移と、新しい外交関係の確立の動きについて理解する。・高度経済成長の実態と、その歴史的意義について理解する。また、高度経済成長期には、経済発展の一方で、都市化、農山漁村の過疎化、公害の発生など、さまざまな社会問題が表面化したことを理解する。・高度経済成長期において、科学技術の発達、産業構造の変化、消費の拡大など、これを機におきた変化の内容について理解する。 <第3節> ・石油危機にともなう日本国内の動きを、国際情勢の動向をふまえて、理解する。・1970年代以降の消費生活の変化、その背景としての家族形態の変化について理解する。・国際的な冷戦の終結後の世界情勢と、国内的な55年体制の崩壊について理解する。・現在の日本がかかえる諸課題について、国際社会での役割、国内的な問題という面から理解する。・1990年代以降の国民生活については、経済的背景としての雇用状況の変化、また、ネットワークの発展が大きなキーワードであることを理解する。			「最新日本史図表」(第一学習社) 「日本史Aノート」(第一学習社)	
	2	第3節 現代の日本と世界					
	3						
提出物・課題等 ・「日本史Aノート」(第一学習社) ・授業ノート							
評価方法 各学期の考査評価・課題への取り組み状況・授業態度などの総合評価							